

学校だより

プラタナス



令和2年5月7日(木)

No.6

市川市立市川小学校

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>



学ぶ力が伸びる3つの条件とは？

休校がさらに延長され、先の見えない不安が大人にも子供にも広がります。こうした中、「学力格差」を心配する声があるようです。例えば、「教科書を自分で読んで、理解して問題を解いていける子は一握りだろう」「子供が集まって先生のもとで学ぶことが前提に考えられたカリキュラムだから無理があるのではないか」「親が勉強を見てやれるような時間的、精神的余裕があるかどうかが子供の学習環境を左右する」「自治体によって対応がまちまちで大丈夫なのか」など。でも、本当の「学力」って何なのでしょう。テストでよい点数がとれることを指すのでしょうか？

内田 樹氏（学塾・凱風館を主宰）のブログにある、当時中学校2年生の教科書用に書き下ろしたという文章に目が留まりましたので一部紹介したいと思います。

「学ぶ力」は他人と比べるものではなく、個人的なものだと思います。「学ぶ」ということに対して、どれくらい集中し、夢中になれるか、その強度や深度を評するためにこそ「学力」という言葉を用いるべきではないでしょうか。（略）

人間が生きてゆくためにほんとうに必要な「力」についての情報は、他人と比較したときの優劣ではなく、「昨日の自分」と比べたときの「力」の変化についての情報なのです。（略）

「学ぶ力」とはどういう条件で「伸びる」ものなのか、それを具体的にみてみましょう。

そして、「学ぶ力が伸びる」3つの条件を次のように述べています。

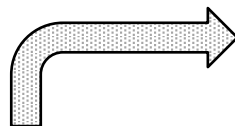
- （1）自分には学ばなくてはならないことがたくさんあること（学び足りなさ）の自覚があること
- （2）教えてくれる師（学校の先生とは限らないし、生きている人物とも限らない、書物ということもある）を自ら見つけようとする
- （3）教えてくれる人をその気にさせる学ぶ側の真っ直ぐな気持ち、吸収しようとする開放性があること



俳優だった松田優作さんは、黒澤明監督の弟子になるために、自宅前に3日間座り込んだというエピソードがあります。これは極端な例としても、学びが受け身では学力が伸びる可能性も低いといえるのではないのでしょうか。

今年度の学校経営の柱の一つでもある「かしこく考える頭」にある『主体的に学ぼうとする意欲を高める』という項目は指導者の目標ですが、どんなに好奇心を揺さぶる授業を組み立てても、学ぶ側にその気持ちがなければ個々の学力は伸びを期待できません。教える側と学ぶ側とが同調するというか、ともに熱心に取り組んでこそ成果が表れると示唆しているように感じました。

学校からの発信は、受信あって初めて価値を生みます。教職員も真剣かつ丁寧に取り組んでいきますので、現在そしてこれからも「学ぶ力(=学力)の向上」にご協力をお願いいたします。



学校教育目標

夢の実現に向けて行動する子供の育成

～やさしいところがいっぱいの学校～

行動する力

問題に向き合って自ら行動する意識を高める

～よいことを言うよりも、よい行動をとる～

■きまりや学習など、物事の意味を考え、納得して取り組める工夫

学校経営方針

- (1)一人一人を大切に、児童が伸び伸びと育つ学年学級経営
- (2)自分の生き方について考えを深めるキャリア教育の推進
- (3)自他の生命や人権を尊重する心、思いやりの育成
- (4)基礎基本の確実な定着と主体的で互いに学び合う授業の創造
- (5)生活習慣の確立や自立を促す健康教育・体力向上の推進
- (6)保護者や地域との連携を深め、信頼される学校づくり

やさしい心

学校生活を楽しんで、
自己存在感・自己肯定感を高める

～信念を持ち、厳しくも温かい指導～

- いじめ等のない人間関係作り
 - ⇒ 本音で語る道徳・人権教育
 - ⇒ 気持ちのよい挨拶
 - ⇒ 自他の尊重(大切に思う心)
- 教育相談活動の充実
 - ⇒ 児童に寄り添う教職員への支援構築
- 生徒指導及び特別支援教育体制の確立

かしこく考える頭

主体的に学ぼうとする意欲を高める

～時間と手間をかけて、
どの子にも学びの喜びを～

- 好奇心を揺さぶる授業の創造
 - ⇒ 体験・交流活動やICTの利活用
 - ⇒ よく聞き、工夫して伝え合い、
考えを深めるトレーニング
- ⇒ 少人数・交換授業の充実
- ⇒ 家庭学習との連続性
- 国語科教育・読書活動の充実

たくましい体

基本的な生活習慣を整える

～「命・健康より大切なものはない」
の種を植える～

- ヘルシースクールの推進
 - ⇒ 体育科授業の充実
 - ⇒ 進んで体を動かす習慣形成
 - ⇒ 生活リズムを自分で決める・守る
- 家庭を巻き込んだ健康・安全・食育



①誰に対しても、明るく爽やかな挨拶ができる教職員 ②児童の実態に即した学習指導や児童に寄り添って話が聞ける教職員 ③心身ともに健康な教職員
「PRIDE」&「BRAND」を引き継ぎ(不易)、変革・改善の必要性を見極め(流行)、教職員一人一人が教育の担い手として学び続ける努力を怠らない！